

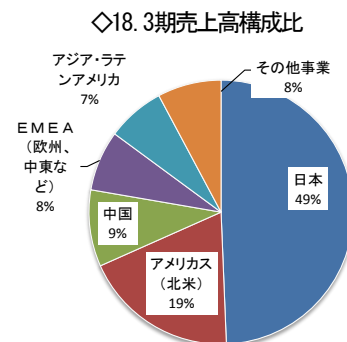
# 企業ニュース エーザイ

(東証1部 : 4523) <https://www.eisai.co.jp>

作成者: 兵藤三郎

## グローバルに展開する中堅医薬品メーカー

1941年日本衛材として設立、1955年に現社名に改称した。グローバルに展開する中堅の新薬メーカー。医薬品の売り上げ規模では、国内第5位、世界で25位程度。国内では「チョコラBBプラス」などの一般用医薬品なども販売している。医薬品分野では「ニューロロジー（神経）」と「オンコロジー（がん）」を戦略的重要領域と位置づけ新薬創出活動を行っている。「アリセプト（アルツハイマー型認知症治療剤）」、「レンビマ（抗がん剤）」が代表的な製剤。「アリセプト」は1997年米国で発売以来、世界100カ国以上で承認された。「レンビマ」は甲状腺がんに係る適応で50カ国以上、腎細胞がんに係る適応（エベロリムスとの併用療法）で45カ国以上の承認を取得している。さらに3つ目の適応症の肝細胞がんでは日本（18年3月）、米国・欧州・韓国（同8月）、中国（同9月）で承認を取得した。



(出所) エーザイ資料よりCAM作成

## グローバルブランドが伸長

19.3期・第2四半期累計（4-9月）の連結業績は売上収益が3,101億円、前年同期比9%増、営業利益が484億円、同74%増。薬価改定の影響を受けたが、注力しているグローバルブランド（自社創製抗がん剤「ハラヴェン」、 「レンビマ」、自社創製抗てんかん剤「フィコンパ」、肥満症治療剤「BELVIQ」を指す）の伸長でカバーした。「レンビマ」の肝細胞がん承認に伴う米メルク社からのマイルストンの受領（約222億円）もあり業績は大幅に拡大した。

19.3期連結業績の会社計画は、売上収益が6,365億円、前期比6%増、営業利益が900億円、同17%増。上半期の業績発表時に従来予想から売上収益で45億円、営業利益で40億円上方修正した。「レンビマ」が日本をはじめ、米国、欧州、韓国、中国で肝細胞がんに係る適応を取得したことに伴い今期の販売数量拡大が見込まれる。ちなみに会社計画の「レンビマ」売上収益は600億円（従来比15億円増）を見込んでいる。新薬開発パイプラインでは、「BAN2401（抗アミロイドβ抗体）」がアルツハイマー病治療薬として期待が高まっている。

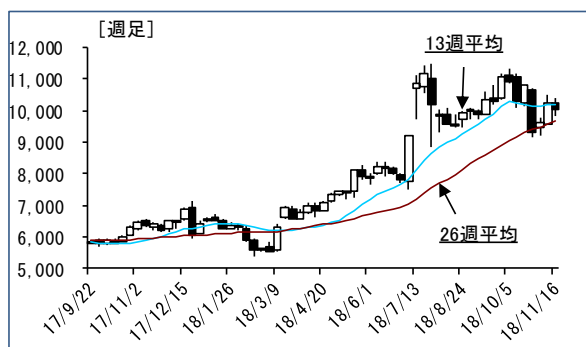
## [株価動向・投資判断]

世界最大の肝細胞がん患者を持つ中国（年間約40万人と推定）で承認を取得した「レンビマ」の成長に期待したい。開発パイプラインでは「BAN2401」に注目したい。

<4523 エーザイ 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.3	539,097 (▲2)	59,064 (14)	57,668 (14)	39,358 (▲28)	137.6	150.00
18.3	600,054 (11)	77,212 (31)	76,803 (33)	51,845 (32)	181.2	150.00
19.3 予	636,500 (6)	90,000 (17)	90,800 (18)	60,500 (17)	211.2	150.00



[主要株価指標]	(売買単位: 100株)
株価(2018/11/16)	10,050 円
年初来高値(高値日)	11,490 円(18/7/25)
同 安値(安値日)	5,402 円(18/2/15)
予想PER(19.3予)	47.6 倍
1株株主資本(PBR算出用)	2,196.5 円
PBR	4.58 倍
予想配当利回り	1.49 %
(1株当たり配当金150.00円)	
ROE(18.3)	8.8 %
発行済み株式数	29,657 万株